

令和3年度庁外施設定期監査 指摘事項措置状況報告書

1 指摘事項

(1) 服務事務における事務処理を誤っていたもの

指 摘 事 項	
計算誤りにより、会計年度任用職員に年次有給休暇を多く付与し残数に誤りがあったため、報酬の支給額に誤りが生じたものがあった。 (保育課：原町保育園、八雲保育園)	
所 属 名	措 置 状 況
保育課 (原町保育園、 八雲保育園)	過払い分を確認し、既に退職した職員であるため、1月頃の戻入による是正を予定している。年次有給休暇の付与にあたっては、マニュアルを適宜確認しながら、前年度からの繰越し日数を含めて入念にチェックする。また、申請・代理入力に当たってはダブルチェックを徹底することにより、誤りが起こらないよう対応する。

(2) 給与事務における事務処理を誤っていたもの

指 摘 事 項	
会計年度任用職員について、定期券等の調整や入力に誤りがあり、旅費の支給額に過払いが生じたものがあった。 (保育課：八雲保育園)	
所 属 名	措 置 状 況
保育課 (八雲保育園)	過払い分を確認し、1月給与における戻入による是正を予定している。旅費の算定にあたっては、回数券や定期券との重複等を申請時に入念にチェックし、マニュアルを適宜確認しながら、誤りが起こらないよう対応する。

(4) 契約事務における事務処理を誤っていたもの

指 摘 事 項	
ア 契約予定価格が5万円以上のため、2者から見積書を徴取したが、不採用の見積書が保存されていないものがあった。 (子育て支援課：烏森住区センター児童館)	
所 属 名	措 置 状 況
子育て支援課 (烏森住区センター 児童館)	指摘のあった物品購入では、契約予定額に対応した2者からの見積書を徴取したが、不採用の見積書が適切に保存されていなかった。 今後は、基本的な事務の理解を深め、より適正な契約事務及び合理的な文書管理・運用を行い、再発防止に努める。 本件については、施設個別の問題とはせず、直ちに児童館長会で状況の報告と適正な契約事務・文書管理の徹底を図るよう指示した。

2 意見・要望事項

(1) 共通事項

意見・要望	
<p>ア 新型コロナウイルス感染症対策に係る工夫等について</p> <p>2年2月に区内で感染者が発生して以来、全庁を挙げて新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）対策に取り組んできた。</p> <p>各施設においては、国及び都のガイドラインや方針、区の措置等に合わせ、子育て支援課、保育課及び生涯学習課で定めた、「対応マニュアル」、「各園で必ず取り組むこと」及び「利用者ガイドライン」により、各施設の状況等を踏まえてコロナ対策上の工夫が図られていた。</p> <p>児童館・学童保育クラブでは、休館、利用自粛、人数制限、利用予約枠設定、イベント中止等があった。そうした中、児童館から対象地域の小学校向けに紙工作の素材と作り方などを提供し、工作の楽しさを発信する例もあった。</p> <p>保育園では、園児の年齢上の特性及び施設の状況等を踏まえ、どのような場所でのどのような保育活動をすれば、三つの密を避けつつ園児の行動把握ができるか等を考え、活動場所の変更等を行っていた。</p> <p>社会教育館等では、窓がない等の理由による研修室等利用休止、利用人数や活動内容の制限、館まつり中止もあった。そうした中、換気確保のため、計器で測定し空気の流れの確保等を行っていた。</p> <p>コロナ対策としての施設利用の中止や制約等は、活動を希望する区民にとっては解消を望みたいところでもある。各施設においては、状況に応じて検討を重ねてきた結果であることを丁寧に説明していくことも肝要であり、取組紹介の工夫についても努められたい。</p> <p style="text-align: right;">（子育て支援課、保育課：各施設）</p>	
所 属 名	措 置 状 況 等
子育て支援課 （各施設）	児童館・学童保育クラブでは、未だワクチン接種の対象になっていない年齢層の利用者が多くいることから、施設利用、事業内容や体制の工夫を凝らし、安全確保を最優先に感染症予防対策を図りながら、コロナ禍での運営を行ってきた。 施設の利用を楽しみにしている利用者・保護者が多いことから、引き続き、丁寧に説明や周知を行い、理解を求めていく。

<p>保育課 (各施設)</p>	<p>基本的な感染症対策を行った上で、子どもたちが豊かな経験をできるように各保育園の状況に応じて助言、指導していく。</p>
----------------------	--

意見・要望

イ 危機管理について

各施設では、整備した危機管理マニュアル等に基づき、災害時や非常時の体制整備、各種訓練の実施等に取り組み、地震・水害・火災対策や防犯・不審者対策など危機管理に努めていることがうかがえた。

また、日々の取組として、児童館・学童保育クラブ及び保育園では、ヒヤリハットの事例について、短時間での打合せや、日誌等の回覧により、職員間で情報共有し、事故の回避に努めていた。緑が丘文化会館では、別館の児童館・学童保育クラブを含めた複合施設であることから、多様な来館者に言葉を掛けて信頼感を高めるように努めていた。こうした取組を幅広く生かすため、施設内での職員間の危機管理に係る迅速な情報共有について、電子的な活用も含めた拡大の方策や、各施設での工夫事例を横断的に施設所管課で集約し共有し活用していく方法についても検討されたい。

引き続き、災害時等に際しての対応力の充実とともに、更なる安全確保につながる日ごろからの行動の励行に努められたい。

(子育て支援課、保育課：各施設)

所属名	措置状況等
<p>子育て支援課 (各施設)</p>	<p>児童館・学童保育クラブでは、課内に設置した危機管理部会において、危機管理マニュアル等を作成し、区内で統一的な対応が図られるように危機管理について取り組んできた。</p> <p>危機管理に関する事例については、内容や状況に応じて、施設間のメールや電話連絡、保護者宛ての見守りメール等で迅速に情報共有・注意喚起を行ってきた。</p> <p>事故やトラブル発生に伴い、その原因と課題を整理し、適切な対応について報告・検証・記録し、日々の運営に活かすことで再発防止に努めてきた。</p> <p>引き続き、このような事例の集約や共有を行い、活用していくことで、利用者及び保護者の安全確保につなげていく。</p>
<p>保育課 (各施設)</p>	<p>園長会において災害時、事故マニュアルについて各保育園の取り組みを共有しながらマニュアルの見直しをしていく。</p> <p>風水害時における各保育園の対応についてガイドラインを作成し、周知していく。</p>

(2) 個別事項

意見・要望	
<p>ア サービス・給与事務等について</p> <p>サービス・給与事務等については、おおむね適正な事務処理がなされていた。しかし、指摘事項でも述べたように、会計年度任用職員に係る事務処理ミスが保育園で見られた。原因としては、施設長及び担当者における引継ぎや事務処理マニュアル等の理解に不十分な点があったことによるものと考えられる。</p> <p>児童館や保育園などでは2年度の会計年度任用職員制度の開始に伴い、非常勤職員や臨時職員から移行した職員も多く、従前からの雇用形態、勤務形態も多様な中で取扱いが整理されている部分もあり、事務処理には細心の注意が必要となる。</p> <p>サービス・給与事務等は事務運営の基本であることから、ミスの繰り返しが生じないような事務の引継ぎ及び事務処理マニュアルの確認の徹底など、なお一層留意されたい。</p> <p style="text-align: right;">(保育課：各保育園)</p>	
所属名	措置状況等
保育課 (各保育園)	事務の引継ぎ及び事務処理マニュアルの確認を行い、会計年度任用職員制度の理解を深めていくことで適正な事務処理を図っていく。また、申請・代理入力に当たってはダブルチェックを徹底し、再発防止に努めていく。

意見・要望	
<p>イ 契約・会計事務処理の適正化について</p> <p>契約・会計事務処理については、今回の監査でも不適正な事務処理が見受けられ、そのうち、前回と同様の指摘が繰り返されたものもあった。原因としては、施設長及び担当者における引継ぎや事務処理マニュアル等の理解に不十分な点があったことによるものと考えられる。</p> <p>今回の監査で指摘事項のあった所属はもとより、各施設所管課においては、不適正な事務処理が発生する原因を分析して集約化するなどし、職員の異動時や昇任時等、定期的に指導する際に活用されたい。</p> <p>各施設では、マニュアル及び関係通知等文書を絶えず参照すること、ダブルチェック体制の整備等を図ることで、円滑な事務処理の遂行が求められる。今回指摘事項のなかった施設を含めて、事務処理の適正化に向けての努力を今後も継続されたい。</p> <p style="text-align: right;">(子育て支援課：各施設)</p>	

所 属 名	措 置 状 況 等
子育て支援課 (各施設)	基本的な事務処理について、マニュアルや関係通知等文書の理解を深め、異動時の引継ぎ、チェック機能の体制確保などを確実にいき、適切で円滑な事務処理に努めていく。

意 見 ・ 要 望

ウ 職員の労務管理等について

保育園は開園時間も長く、様々な勤務形態の会計年度任用職員も雇用して体制を組んでいる。児童館・学童保育クラブでも会計年度任用職員を雇用し、シフト勤務体制を組んでいる。その中で、欠員が生じる状況もあり、欠員補充に向けて、引き続き体制確保の努力が求められている。ほかにも、室内消毒等の作業の増加やコロナ対策としての出勤の見合せが急に求められることもあり、そのフォローアップ態勢を想定しながらのシフト組みという難しさも、直接処遇職場にはある。

このような環境の中でも、職員の働き方の見直しなどに資する観点から、年次有給休暇の取得促進は重要な課題である。施設の中には、目標を設けるとともに、一日単位での休みが難しい場合には時間単位での取得等、職場全体で意識的な取組を行っている例もあった。

各施設での取組の情報共有などを行いながら、より適切な労務管理等を進めるように留意されたい。

(子育て支援課、保育課：各施設)

所 属 名	措 置 状 況 等
子育て支援課 (各施設)	学童保育クラブでは、コロナ禍においても、社会基盤施設の一つとして、その安定的・継続的な施設運営と感染症予防の観点から職員の健康管理が強く求められてきた。 欠員補充に対しては、多様な手段を使って人員・体制の確保に努め、職員の心身の健康管理や働く意欲を高めるためにもワークライフバランスの取り組みを行っていく。
保育課 (各施設)	年次有給休暇取得促進について、各保育園の具体的な取組みの情報共有を図り、取得促進に努めていく。

意見・要望

エ 地域住民との良好な関係性について

保育園は、地域の住民と良好な関係を築きながら、その社会的責任を果たすことが求められている。そうした中、日々の送り迎え、屋外活動の時等、近隣住民の日常生活に与える影響を低減するため、保育園では、園児及び保護者への注意喚起、施設の配置等に応じた動線確認、行事などを行う際の近隣住民への事前案内の徹底等を図っていた。また、地域との交流や連携においては、保育園が行う保育の内容を適切に説明することの大切さが、実践例を通じてうかがえた。

各施設の状況に応じた地域住民との良好な関係性維持に係る実践例を、区内で横断的に情報交換するよう努められたい。

(保育課：各保育園)

所属名	措置状況等
保育課 (各保育園)	園長会で各保育園の実践例について討議し、近隣住民との良好な関係作りに活かしていく。